

2021年6月30日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 松山 哲人
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-3241-0553

社会貢献債（ソーシャルボンド）の購入について ～ESG 投資を通じて持続可能な社会の形成に貢献～

当社は、このたび、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行する社会貢献債（ソーシャルボンド）を購入したことをお知らせします。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への投融資に利用されることを前提として発行される債券です。ソーシャルボンドにより調達された資金は、JICA が実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際経済社会の健全な発展のために使用されます。

また、2016年12月22日に日本政府が策定・公表した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において、JICA 債の発行が SDGs を達成するための具体的施策の一項目として掲げられています。当社は、JICA 債への投資が、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際経済社会の健全な発展のために活用されることにより、地域経済の発展に繋がっていくことを期待しております。

当社は、本債券による社会貢献債等の ESG 投資を通じて、環境・社会問題への取り組みを支援するとともに、引き続き、医薬品の開発を通じて人々の健康と幸福に貢献し、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えています。

【第 59 回国際協力機構債券】

総 額：金 100 億円

期 限：10 年

利 率：年 0.125%

格付け：A A +（株式会社格付投資情報センター）

A +（S & P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社）

【JICA債の概要】

JICA が実施する有償資金協力事業に必要な財源に充てるため、2008 年より実施している財投機関債による国内資本市場からの資金調達と、2014 年より実施している政府保証外債による海外資本市場からの資金調達の二つを総称したものです。調達資金の全額が充当される有償資金協力事業とは、開発途上国に対して低利で長期の緩やかな条件で公共事業等の開発資金を貸し付けることによって開発途上国の経済・社会発展への取り組みを支援するものです。JICA は、国際資本市場協会（ICMA）が公表するソーシャルボンド原則に適合した債券フレームワークを構築し、第三者評価機関からセカンドパーティーオピニオンを取得しています。

以上